

第2回定例岡山県教育委員会議事録

- 1 日 時 令和3年4月16日(金)
開会13時30分 閉会13時50分
- 2 場 所 教育委員室
- 3 出席者
- | | |
|--------------|------------|
| 教育長 | 鍵本 芳明 |
| 委員(教育長職務代理者) | 上地 玲子 |
| 委員(教育長職務代理者) | 服部 俊也 |
| 委員 | 松田 欣也 |
| 委員 | 梶谷 俊介 |
| 委員 | 田野 美佐 |
| 教育次長 | 池永 亘 |
| 教育次長 | 梅崎 聖 |
| 学校教育推進監 | 平田 善久 |
| 教育政策課 | 課長 大西 治郎 |
| | 副課長 江草 大作 |
| | 総括主幹 土井 隆史 |
| 義務教育課 | 課長 川上 慎治 |
- 4 傍聴の状況 0名
- 5 報告事項
(1) 令和3年度全国及び岡山県学力・学習状況調査の実施について

6 議事の概要

開会

報告事項（1）令和3年度全国及び岡山県学力・学習状況調査の実施について

・義務教育課長から資料により一括説明

（委員）

試験が1か月遅れることになったが、遅れた試験日までの授業は前の学年の復習を行わせるのか。

（義務教育課長）

授業については当該年度の教育課程どおり実施しているが、放課後などに復習をする学校はあると思う。

（委員）

授業は当該年度の教育課程の内容を行うが、放課後や宿題等で前の学年の復習を行うことで、内容を埋め合わせるということか。

（義務教育課長）

昨年度の教育課程の内容についてきちんと行えているかどうか調査を行ったが、岡山県では、昨年の段階で、夏季休業を短くしたこともあり、前年度の教育内容を今年度に持ち越す学校はない。当然苦手部分の復習として、放課後や宿題等で課題を出す学校はある。

（委員）

テストとなると学力順位が何番であるか、前年度と比較してどうだったか、ということに注目しがちであるが、この学力調査は子どもたちの学習状況をモニタリングするために行うことこそ重要な目的である事を認識した。保護者や子どもたちはこのことについてきちんと理解してこの調査に臨んでいるのかは分からないが、順位ばかり気にしていたら、現状の学習状況を認識するという本来の狙いを見失ってしまう。このことについては是正していく必要があると感じる。

（義務教育課長）

全国調査は小学校6年生と中学校3年生のみであるが、岡山県独自の調査は小学校3・4・5年生と、中学校1・2年も対象としている。これにより子どもたちの経年の変化を捉えることが可能である。県調査については、レーダーチャートで自分の得意・不得意分野が掲載された調査結果を、子どもたち一人一人に送付しているが、今年度から調査票の下側にQRコードを添付する。GIGAスクールで整備した端末や家庭のPC等を使用し、QRコードを読み取ることで、個の課題に応じたプリントを取り出すことができるようにした。今年度から、まさにご指摘のような学習状況を把握し、自分の弱点を強化しながら、自己ベストを目指していくための工夫を行ったところであり、今後も、子どもが自ら学習を改善するような形に持っていけるように努めてまいりたい。

（委員）

実施日が1か月遅れることになるが、結果の送付についても同じくらい遅れるのか。

（義務教育課長）

国からの通知によると8月中下旬頃とあり、例年と比較すると約1か月程度遅れ

る見込みである。

(教育長)

県独自調査の結果の送付日程はいつ頃か。

(義務教育課長)

8月上旬には送付したいと考えている。

(委員)

例年だと、その結果を踏まえて、次の対策を講じるというサイクルになるが、それが少しずれることになる。

(義務教育課長)

本来であれば夏季休業に入る前に結果が返り、夏季休業中に結果を踏まえ学校が対策を講じることが望ましい。遅れが少なくなるように対策を検討してまいりたい。

(委員)

例年だと、7月の個人懇談の際に保護者と子どもに結果を渡すことで、先生と課題の共有化を図れるが、その機会が無いということになる。

(義務教育課長)

ご指摘のとおり課題の共有化を図る機会の確保が困難となるが、岡山県独自の調査については、先ほどのQRコードを使用し、子どもたち自身が進んで学習できる工夫を設けることで対応してまいりたい。このような工夫について、各学校からも保護者に向けて積極的に発信するように周知してまいりたい。

(委員全員)

了 承

閉会

